

「宮崎研修～宮崎再発見 日向市を訪ねて～」

2017年1月17日（火）（一社）日本観光通訳協会
第四支部研修レポート

1月21日（土）午後12時30分JR日豊本線日向市駅に集合し、「宮崎研修、宮崎再発見、日向市を訪ねて」研修を実施しました。参加者は14名（会員9名、非会員4名、運営委員1名）、九州各地、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島からでした。ガイドとして、「日向市歴史観光ボランティアガイドの会」の杉山義則氏が同行してくださいました。

限られた時間内に通常の公共交通機関では視察は困難と思いましたが、バスを貸し切りました。集合場所は日向市駅でしたが、駅名に市がつくのは珍しい発見でした。昔、宮崎は日向と呼ばれていて、宮崎県全体をさすものでしたので、混同しないように日向の後に市をつけたとの事でした。



近年、日向市の細島港に豪華外国客船寄港の数が増えていますので、まずは、バスで港の位置を確認し、それから日向岬、馬ヶ背へとむかいました。馬ヶ背から見下ろす太平洋は絶景でした。約1時間、馬ヶ背を視察し、クルスの海経由、米の山へと向かいました。米の山は海拔192mあり、日向市が一望できます。

その後、大御神社、美々津へと向かいました。美々津は神武天皇ゆかりの地です。19世紀に建てられた廻船問屋「河内屋」は現在の日向市歴史民俗資料館にあたり、館内で当時の美々津の姿を伺いました。参加者からは宮崎の美しさを再発見でき大変満足とのコメントをいただきました。17時には日向市駅へもどり解散となりました。

（以上）